

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第31週	第30週	第31週		第30週		第31週		第30週		第31週		第30週		第31週		第30週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	5	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	24	33	4	1	5	0	3	0	5	0	0	1	0	0	1	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	72	6	0	3	0	3	0	1	0	0	0	0	0	3	0	2	0
感染性胃腸炎	127	102	29	0	25	1	29	0	25	1	0	0	0	0	0	0	0	0
水痘	13	12	4	1	1	1	4	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	21	27	5	0	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	9	0
伝染性紅斑	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	24	32	7	1	5	0	6	0	5	0	0	1	0	0	1	0	0	0
ヘルパンギーナ	204	205	23	0	21	0	18	0	10	0	0	0	0	0	5	0	11	0
流行性耳下腺炎	15	8	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	56	79	3	0	7	0	3	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0		0	
流行性角結膜炎	23	17	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0	0		0	

※平成30年1月1日より百日咳が全数把握疾患となりました。また、風しんの届出が「診断後7日以内」から「診断後直ちに」と変更になりました。
 ※平成30年5月1日より急性弛緩性麻痺が全数把握疾患となりました。

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地域の状況

<p>流行中</p> <p>〈ヘルパンギーナ〉 発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に流行します。感染経路は接触感染を含む糞口感染と飛沫感染です。</p>	<p>※飛沫感染 患者の咳やくしゃみのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことで感染します。マスクの着用や咳エチケットを実施してください。</p> <p>※接触感染 細菌が付着した手で口や鼻に触れることで感染します。手洗い、うがい、頻りに人が触れる場所(ドアノブ等)についての環境整備など基本的な対策を徹底することが必要です。</p> <p>※糞口感染 接触感染の一種。便の中に排泄されたウイルスが口に入って感染します。排泄後の手洗い、オムツの適切な処理が必要です。</p>
<p>小流行中</p> <p>〈咽頭結膜熱〉 アデノウイルスの感染により、38~39度台の発熱、のどの痛み、結膜炎といった症状を引き起こす、小児に多い病気です。プールからあがったときは、シャワーを浴び、うがいし衛生を保つようにしましょう。患者とのタオルの共用など綿密な接触は避けましょう。</p> <p>〈A群溶血性レンサ球菌咽頭炎〉 A群レンサ球菌による上気道の感染症です。感染経路は飛沫感染、接触感染です。</p> <p>〈RSウイルス感染症〉 RSウイルスの感染による呼吸器感染症です。症状は軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々です。感染経路は飛沫感染、接触感染です。</p>	

県内の麻しん感染拡大が終息しました！！

○県内における麻しん患者の発生について

- 平成30年6月29日に初発患者発生を公表して以降、現在まで計10名の発生届出がありました。
- 7月9日に麻しん患者が確認された後、新たな患者が発生していないことから、平成30年8月6日に麻しんの感染拡大は終息したと判断しました。

※麻しん終息の判断

麻しん患者との最終の接触者発生から4週間、新たな患者が発生していないこと（「麻疹発生時対応ガイドライン（国立感染症研究所感染症疫学センター作成）」に基づく）

海外では麻しんが流行している地域(アジア、アフリカ、ヨーロッパ等)があります。渡航前に渡航先で流行している感染症について、厚生労働省や検疫所のホームページにて確認しましょう。

○予防接種について

麻しんは非常に感染力が強く、空気感染、飛沫感染、接触感染など様々な経路で感染します。特効薬もないため、麻しんに感染しないためには予防接種が重要です。

- 麻しんは定期予防接種です。対象者の方は忘れずに予防接種(MRワクチン)を受けましょう。

【定期接種の時期(各期とも1回ずつ接種)】

- 第1期 1歳以上2歳未満
- 第2期 5歳以上7歳未満の者で、小学校入学前の1年間(年度内に6歳になる者)

- その他の方でも、任意で予防接種(費用は自己負担)を受けることが可能です。特に、母子手帳などで麻しんワクチンを2回以上受けた記録がない、過去に麻しんに罹ったことが確実でない方は注意が必要です。
- 予防接種は2回の接種で99%以上の方が免疫が得られると言われています。2回予防接種を受けたから、感染しないわけではありません。感染した場合、重症化を予防することができますので、予防接種を受けましょう。



この情報に関するお問い合わせ先: 県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム

TEL: 0248-75-7818

E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp